



2025年 8 月

第73号

備前市議会だより

備前市美術館 開館式

おもな内容

- P 2～ 6月定例会・5月臨時会の概要
- P 4～ 一般質問 ～13議員が質問に立つ～
- P 11 政務活動費の活用状況
- P 12～ 各委員会審査
- P 15 議案等審議結果
- P 16 次期定例会の予定

6月定例会の概要

第3回定例会は6月2日に招集され、6月27日までの26日間にわたる会期で開催されました。

6月2日に市長、教育長から市政、教育行政の全般にわたる報告を受け、議案上程に続き新市長による施政方針演説が行われました。一般質問は6月11日、12日、13日の3日間で13人の議員が行いました。最終日には各委員長が審査結果を報告し、採決では賛否の分かれた案件を討論の後、それぞれを議決して閉会しました。

◆施政方針演説

4月27日就任の長崎信行市長は、「子どもから高齢者、性別や障がいなど関係なくすべての市民のために、よりよい備前市を未来に残す。」と決意を表明し、「歪んだものを正し、まっすぐな市政をつくる」、「市民一人ひとりを大切にし、豊かさを共有する」を市政運営の基本方針に掲げ、大規模事業など市民生活に大きな影響がある施策においては市民の声を直接聞く機会を設けるなど市政への市民参画を推進して、みんなで考え、みんなで決める市政運営を実現するとの姿勢を示しました。

■備前市副市長の選任同意について【同意】

前任の杉浦俊太郎氏、藤田政宣氏がいずれも一身上の都合により任期途中で辞任し、空席となっていた副市長に、元岡山県職員で備中県民局長、環境文化部長などを歴任した佐藤将男氏を選任する提案があり、全会一致で同意しました。

■緊急質問

オリックス・バファローズ応援・観戦ツアーを中止するとの総務産業委員会への報告を受け、6月27日の本会議において、中止とした理由や経緯についての緊急質問がありました。

市長は、想定以上の価格高騰で入札不調となり業者が決定しなかった。縮小して実施することや再入札も考えたが、チケットに関して23日中に決断する必要があったことなどから8月に計画していたツアーは中止とした。楽しみにされていた市民の方がいらっしゃること、選手の励みにもなる事業であることから、実施に向けて前向きに努力するとの答弁がありました。

5月臨時会の概要

第2回臨時会が5月23日に開催されました。臨時会では、人事案件3件、専決処分の承認8件が提案されました。当日中に各委員長が結果報告を行い、採決では賛否の分かれた案件を討論の後、それぞれを議決して閉会しました。

■専決処分（令和7年度一般会計補正予算（第1号））の承認【不承認】

4月11日に「緊急的な措置」として専決した令和7年度一般会計補正予算（第1号）について、政策形成過程が不明瞭であること、臨時会を招集する時間的余裕があり、地方自治法に規定する緊急的な措置とは言えないと指摘して承認に反対する討論があり、採決の結果、賛成少数で不承認となりました。なお、詳細は14頁をご覧ください。

■備前市教育長の任命同意について【同意】

任期途中の5月20日付で退任した今脇誠司氏の後任として、岡山県教育委員会及び備前市教育委員会で勤務経験のある、元市立中学校長の小郷康弘氏を教育長に任命する提案がありました。同氏から勤務経験を生かし、「手続きの適正化」と「合意形成」を全職員と共有しながら、市の教育発展に尽くしたいとの所信表明があり、質疑の後、全会一致で同意しました。

なお、5月臨時会及び6月定例会に付議された議案等の審議結果につきましては15頁を、各議員の賛否は次の一覧をご覧ください。

(編集委員 山本 成)

各議員の賛否一覧

案 件	上 段：会 派 名 下 段：議 員 名		公 備 明 前 党 市 議 議 団 団		日 備 本 前 共 市 産 議 党 団		新 志 会		経 民 会			市 政 会			無 所 属			賛 成	反 対
			森 本	奥 道	中 西	松 本	石 原	藪 内	守 井	尾 川	山 本	内 田	土 器	丸 山	立 川	青 山	草 加		
令和7年度 一般会計補正予算（第2号）			○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	12	3
勤労者センター設置条例の廃止			○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	9	6
財産の無償貸付			○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	10	5
新図書館建設工事の請負契約変更			○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2
監査委員の選任同意			○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2
専決処分（国民健康保険税条例の一部 改正）の承認			○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2
専決処分（備前市美術館条例の一部改 正）の承認			○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	11	4
専決処分（残土処分場調整池整備工事 の請負契約変更）の承認			○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	11	4
専決処分（備前焼ミュージアム新築工 事の請負契約変更）の承認			○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	11	4
専決処分（旧アルファビゼン第Ⅱ期改 修工事の請負契約変更）の承認			○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	11	4
専決処分（令和7年度一般会計補正予 算(第1号)）の承認			○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	7	8

- 【表の見方】
1. 「○」は賛成、「×」は反対、「－」は表決に加わっていないことを表します。記名投票による表決は投票賛否を、起立表決による表決は、「着席者を否（反対）とみなす」備前市議会の先例に基づいて記載しています。
2. ■は討論を行った議員を示します。

一般質問の要旨

登壇した13議員の一般質問通告事項は次のとおりです。

質問議員	質 問 事 項	質問議員	質 問 事 項
1 藪内 靖	1 ビッグプロジェクトと呼ばれた事業の現状と今後の見通しについて 2 A L T外国語指導助手について 3 公共交通について 4 北前船について	8 内田敏憲	3 機能的で楽しい未来のために「快適まちづくり」について 4 高齢者が健康でいきいき暮らせる未来のために「ピンピン高齢者・バンザイ作戦」について 5 成長力に富み、活力あるまちの未来のために「メシのたね、増幅作戦」について
2 奥道光人	1 災害対策について 2 観光振興について 3 妊娠・子育て支援について	9 丸山昭則	1 防災について 2 粗大ごみのリサイクル(くるくるショップ)について 3 A L Tについて
3 立川 茂	1 予算編成の公聴制度導入について 2 第3次備前市総合計画について 3 教育虐待と不登校について 4 施設整備について	10 山本 成	1 令和7年度施政方針から 2 まちおこしについて 3 伊部運動公園(片ログラウンド)について 4 旧伊部公民館について
4 守井秀龍	1 令和7年度施政方針について 2 現在進められている備前市美術館、ビーテラス、新図書館事業の今後について 3 地域の課題(吉永地域)について 4 ハ塔寺ふるさと村の活性化について 5 地域要望の解決策について 6 補助金に対しての考え方について	11 青山孝樹	1 令和7年度の施政方針について 2 公共交通について 3 防災・減災について 4 教育について 5 本市のスポーツ行政について
5 森本洋子	1 施政方針について 2 環境保全について	12 松本 仁	1 現在の市の財政状況について 2 備前市美術館、学びと遊びの健康プラザ、新図書館建設や企画について 3 観光船の建造と運航計画及び竣工記念イベントについて 4 備前焼の販路拡大について 5 マイナンバーカードに関する施策について 6 日生総合支所の空きスペースの利用について 7 施策の優先順位について
6 石原和人	1 市政運営について 2 令和7年度施政方針について 3 教育について 4 より投票しやすい環境整備について 5 ごみ収集車への環境ポスター掲載について 6 備前市が関係する訴訟について		
7 尾川直行	1 地域づくり、人口減少への取組 2 戦後80年 戦争の記憶後世へ 3 新図書館開館に向けて 4 地域コミュニティづくり、片上地区交流館について 5 教育行政への取組について	13 中西裕康	1 市政の大幅な軌道転換を ～そのためにはしばらく立ち止まって精査、検討が必要ではないか 2 小・中学校の修学旅行への助成を 3 これまでの備前市電子地域ポイントの有効性について 4 環境問題について 5 庁舎建設に関わる談合についての訴訟について 6 老朽化した備前斎場について 7 少子高齢化の進行の中での病院経営について
8 内田敏憲	1 未来を担うこどもたちの未来のために「家庭力・地域力・学校力の向上」について 2 安全・安心な未来のために「防災・減災・安全のまちづくり」について		



ビッグプロジェクトの現状と見通し

新志会
数内 靖



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 美術館、伝産会館、新図書館、ビーテラス（学びと遊びの健康プラザ）について、市民センターも含めて棲み分けをされては。例えば、新図書館のアリーナ部分を仕様変更し、センター大ホールの代替えとし、センターは解体、跡地は駐車場と交差点改良用地として利用されては。
市長 美術館は開館準備を進めている。市民センターは、当面、大ホールや貸館の機能を有する文化施設として維持管理しながら活用方法を検討。ビーテラスは一部検討中です。



備前市美術館と伝統産業会館

問 ALT（外国語指導助手）について、曖昧な情報が多く現状が全く把握できないので、正確な情報をお知らせください。

教育長 ALTについては、今年度、備前市の職員として、87名を雇用している。英語以外の授業では、言葉の問題が大きく、教員、ALT、子どもが戸惑うことがあるなど、課題の報告を受けている。

問 デマンドタクシーに注目が集まるが、市バス、タクシー、介護タクシー業者など全ての関係者を巻き込み、JRを含めた公共交通全体を見直されたい。

市長 5月に事業者も含めた関係者で意見交換を行なった。今後も協議を重ね、本事業への理解と協力を得ながら、制度の充実を図りたい。

問 北前船の造船はどのような状況か。運行についても航路、委託業者も決まっておらず、今後どのような方針で進められるのか。

市長 9月末の竣工予定で進めている。運航計画等は決定していないが、早期に事業者を決定し具体的な運航等について協議する予定です。



安心・安全な市民生活を

公明党備前市議団
奥道 光人



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 災害対策でトイレカーの追加購入は。

市長 昨年2台購入、今年1台導入する。有益だが、今後は簡易トイレなど災害備蓄品の整備を進める。



トイレカー

問 防災公園の今後の見込みは。市民の安心安全を守るために大至急着手すべきでは。

市長 中止する。40億円もの事業費が見込まれており、各インフラの耐震化を最優先とする。

観光振興について

問 閑谷学校周辺の整備は。

市長 岡山県景観条例による制約もあるため、県や顕彰保存会と連携して慎重に検討する。

問 備前焼振興の取り組みは。

市長 備前市美術館での企画展、関西万博への出展、海外バイヤーの招聘、海外展示商談会の実施、六古窯サミットの本市開催等により、これまで以上に魅力発信を強化する。

妊娠・子育て支援について（保護者からの訴え）

問 家庭育児応援金の制度見直しを

市長 4か月ごとの申請で翌月ポイントを付与し、利用期限を3か月としているため、次の申請月が利用期間外となっていた。利用期間を4か月に改め、空白期間が無いようにする。

問 初回産科受診料支援事業・無痛分娩費用助成事業について、今まで「広報びぜん」に掲載がない。知らされていない人もいる。周知徹底してほしい。

市長 様々な機会を使って周知してきたが、今後さらに周知の機会を増やしていく。これ以外の事業も積極的に広報を行い、周知徹底に取り組む。



変わろうよ！備前市

無所属

立川 茂



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 次年度予算編成から公聴会開催制度の導入を。

市長 現行の制度に縛られない形で柔軟に意見を伺うことが出来るように、国、県、大学の研究機関との良好な関係づくりや連携の強化に努める。

問 最上位計画である、第3次備前市総合計画の前期計画の総括・課題・対策は。

企画財政部長 計画期間内に目標値を達成した指標もある一方、期首の基準値を下回った指標も見られる。課題として、目標値の根拠は適切であったかなどを検証し、全国基準の指標を取り入れるなど、根拠が明確で評価のしやすい指標の設定に努める。

問 最近の不登校の傾向について。

教育長 不登校の原因は「学校生活に対してやる気が出ない」「不安・抑うつによるもの」が主な理由で、最近では「親子の関わり方」や「家庭生活の変化」など、家庭に起因する理由が増加傾向です。

問 施設整備改善の優先順位基準は。

総務部長 緊急性、使用頻度及び費用対効果、財源確保の観点から総合的に判断している。



使用開始が待たれるグラウンドのトイレ



令和7年度施政方針及び地域の課題について

経民会

守井 秀龍



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 施政方針から、ふるさと納税について。

市長 施政方針の中では触れておりませんが、各種事業に取り組むための重要な財源と認識している。

問 健全な財政運営について。

市長 令和5年度の経常収支比率は88.9%、前年度から0.2ポイント改善、実質公債費比率は9.1%と前年度から0.5ポイント改善している。

財政指標の妥当な水準については、15市の平均値（経常収支比率：91.6%、実質公債費比率：8.2%）を評価の目安とすることも可能と考える。

問 地域の課題について（吉永駅周辺の整備）

①吉永駅南口の開設について。

市長 駅利用者の利便性向上、賑わい創出に向けて検討をしながら、JR西日本と協議を続けている。高額な事業費が想定されることから、国庫補助制度を含む有利な財源を調査しながら検討する。

問 ②吉永駅南広場の整備について。

市長 駅南口の整備と併せ、地域活性化となるような施設の誘致等について検討する。

問 ③吉永駅東の踏切拡幅について。

市長 踏切拡幅には高額な事業費が必要となることから、費用対効果を含めて事業実施について検討する。



吉永駅周辺



備前市のこれから

公明党備前市議員
森本 洋子



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

備前焼伝統産業会館について

問 施政方針の中で、備前焼伝統産業会館については、「関係団体と協議を行い、改修内容や運営方法を再検討しながら進める」とあったが、なぜ再検討が必要だと思ったのか。

市長 地域産業の振興と文化の発展向上には、市以外にも各種団体との連携が必要不可欠と認識しているため。

問 指定管理者が、備前市文化芸術振興財団であるが、変更を考えているか。

市長 指定管理は、備前市文化芸術振興財団に行ってもらう。1階、2階については、陶友会、観光協会と協議していく。

デマンド型乗合タクシーについて

問 新しい地方経済・生活環境創生交付金デジタル実装型TYPEVを活用した予約配車システムも含めた具体的な取り組みは。また、午後からの運行はどのように考えているか。

市長 国の補助金を活用し、予約配車システムを導入するための予算を計上している。

各地区を運行する運転手が個々に行っていた予約受付を一本化し、効率化された配車が可能となる。利用者の利便性向上と運転手の負担軽減が図られると見込んでいる。

運行時間については、関係機関と協議を行い、見直していく。



デマンド型乗合タクシー



市政運営について

新志会
石原 和人



本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 現在13名の職員が国内外の機関に派遣されているが、今後どのような対応をお考えか。

市長 一般財団法人自治体国際化協会への派遣については期間短縮の申し入れを行い、調整を進めている。

問 施政方針で一旦立ち止まるとされた大規模事業をどのように見直すのか。

市長 美術館、ビーテラス、観光船及び図書館については中止の考えはない。伝統産業会館は改修内容を再検討し、防災公園は中止したい。

教育について

問 少子化が加速しており、小中学校の再編は避けて通れない最大の課題ではないか。数年かけてでも議論を進めるべきと考えるがいかがか。

教育長 将来的には適正配置について考えていかなければならないと認識している。小中一貫教育、コミュニティスクールの取り組みを進める中で、学校運営の課題を関係者と共有し、検討していきたい。

問 昨年度、大きな渦となった香登認定こども園整備は、西鶴山地区も含めて検討を進めるべきでは。

教育長 適切なこども園の場所について議論していく予定である。まずは緊急性の高い大内分園の方向性の検討を最優先したい。

市が関係する訴訟について

問 現在、市が関係する訴訟はどのようなものか。

市長 生活保護基準の改訂に係る事案、固定資産税評価額に関する事案のほか、6件係争中である。

問 2件以外の4件は説明いただけないのか。

総務部長 新庁舎建設工事に関するもの、オリックスバファローズ応援ツアーに関するもの、市内に設置された工作物の土地明け渡しに関するもの、地域おこし協力隊に関するものの4件である。



戦後80年 戦争の記憶後世へ

経 民 会

尾 川 直 行



二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 1945年の終戦から80年が経過し、戦争や空襲を体験した世代が減り、戦争を体験した人たちの言葉を直接聞くことも難しい時代を迎えています。平和について考える取り組みを行うべきである。

市長 戦後80年にあたり、先の大戦で犠牲となられた方々に哀悼の意を表するとともに、恒久平和を祈念します。平和について見つめ直す機会を持つことが重要と考えている。戦没者追悼式は例年どおりの規模で行う。

また、戦後80年の節目において、戦争の記憶を伝えるため非常に重要であることから、備前市歴史民俗資料館で、戦争と平和の企画展示を行う。

教育長 小学校では歴史学習で平和の大切さを深く実感できる授業づくり、中学校では修学旅行のメインテーマを平和学習と位置づけ、戦争の悲惨さと平和の大切さを体感する教育を行っている。



千鳥ヶ淵戦没者墓苑の陶棺

問 「千鳥ヶ淵戦没者墓苑」は、先の大戦に際し海外の戦場で戦没、戦火に巻き込まれ死亡された方々240万人の御遺骨の収集が行われてきている。収集した御遺骨の埋葬を東京千鳥ヶ淵に建設されることになり、陶棺設計者が東京工業大学谷口吉郎博士、陶棺制作は電力の鬼松永安左エ門氏を通して地元企業九州耐火煉瓦(株)、金重陶陽氏があたり昭和34年3月竣工した。戦後80年の節目に「千鳥ヶ淵戦没者墓苑の陶棺」制作の顕彰を行うべき。

市長 無名戦没者の墓として創建された墓苑は戦争の歴史を振り返り、戦争について考える場所である。墓苑のシンボルである「陶棺」は九州耐火煉瓦(株)と金重陶陽氏による制作された貴重なものと考えている。



「未来につなぐ 5つの柱(施策)具体的に」

市 政 会

内 田 敏 憲



二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 未来を担うこどもたちのために家庭力・地域力・学校力の向上はどのようなことを。

市長 子育て支援については、「こども家庭センター」を中心に妊娠期から子育て期まで、切れ目のない伴走型相談支援に取り組む。

問 高齢者が健康でいきいき暮らせる未来のために、ビンビン高齢者・バンザイ作戦で認知症対策の推進、介護予防の推進、生涯学習の推進についてはどのようなことを。

市長 認知症サポーターの養成に取り組み、地域で共に活動するチームオレンジの拡充を図る。



健康体操

問 成長力に富み活力あるまちの未来のためにメシのたね、増幅作戦はどのようなことを。

市長 引き続き企業用地の造成事業を推進するとともに、企業誘致及び留置に努めるなど、企業支援を図る。産官学の推進は、企業、大学等及び自治体が連携して新しい技術の研究開発や新しい事業の創出、新しい製品の開発などの取り組みを検討する。

意見 行政も企業も何のためにするか明確な目的があり、目的をかなえるために目標を設定し、この目標を達成するために戦略、戦術があり、行動することだろうと思います。目標を市民の方にしっかりとわかりやすく定めていただきたいと思います。



防災について

市 政 会
丸 山 昭 則



二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 能登半島では、水道施設が甚大な被害を受けた際、断水の長期化等による緊急時の代替水源として地下水利用が有効な手段の一つであり、地域防災計画に「災害時の代替水源としての活用」を位置付けている。災害が起こってからでは遅いと思います。災害時の地下水（井戸）の活用について調査、把握していますか。

市長 井戸については、地震後に水質が変化する可能性もある。本市では、被害を受けていない水源地又は上水道から取水し、給水車、船舶等で搬送の上、給水する「搬送給水」を重視した方法を採用している。また、水道水の約90%をつくっている坂根浄水場は地震を想定した改築工事が完了している。

問 災害時、水を取り巻く環境は衛生状況に直結しますが、飲料水が優先されるため入浴や手洗いの機会は不足しがちになりやすく被災者の疲弊や衛生状況の悪化を招きます。この対応策として、使った水を98%リサイクルする水道いらずのAI循環式シャワートラックを導入してはどうか。

市長 被災者の衛生状況の悪化を防ぐための1つの手法として考えられるが、自衛隊による入浴支援なども考えられることから、他の自治体の事例などを参考に研究する。

問 ALTについて今後どうするのか。具体的な見解は。

市長 ALTも進めるべきところは継続して進め、見直しが必要な部分については変更をすることでより良いものとなるように市長部局、教育委員会、学校現場等、関係各位で協力しながら進めていきたい。



今はじめなければ 何も始まらない

経 民 会
山 本 成



二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

観光振興について

問 稼げる観光を推進していくためには滞在型の観光でなければなりません。備前市には小規模の宿泊施設しかありません。宿泊施設についてどのようにお考えか。

市長 宿泊施設の整備については、観光推進の面において重要であると考えており、適切な場所や規模等について民間事業者の活力を導入することも含め検討する。

移住定住の促進について

問 市外・県外の方にいきなり移住していただきたいは、かなりハードルが高いです。政府が創設する「ふるさと住民登録制度」などを利用し関係人口を増やすことから始めるべきでは。

市長 「ふるさと住民登録制度」については、本市にゆかりのある方々と継続的につながりを持ち、将来的な移住・定住につなげる取り組みとして、有効な手段の一つと考えている。今後、国の明確な方針が示されたら、体制整備や効果的な情報発信など、制度の運用について慎重に検討する。

まちおこしについて

問 徳島県阿南市では、野球と市内観光をセットにした「野球観光ツアー」でまちおこしに成功しています。仮に備前市が同じことをすれば、備前市はドジャースの山本由伸選手、オリックスの頓宮裕真選手などのネームバリューを持っているので成功すると思いますがいかがでしょう。

市長 チオビタ運動公園など市内スポーツ施設を活用し、スポーツイベントやスポーツ合宿の誘致など、スポーツツーリズムの推進に取り組む。

また、これまで実施してきたスポーツイベントについても新たな視点で「文化」「観光」の要素を掛け合わせるなど創意工夫を凝らして企画等を関係部署と連携し検討する。



長崎流天下布武を まちづくりの旗印に!!

無所属

青山 孝樹



二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 長崎市長の「長崎流天下布武」における、歪んだものを正し、まっすぐな行政とはいかに。

市長 トップダウンによる事業実施ではなく、市民、職員からの意見を参考にボトムアップによる施策を実施することである。具体的には、高齢者の安全・安心、上下水道や道路などインフラのメンテナンス、地震に対する備えなどに取り組む。

問 防災士の活用と組織化はできないか。

市長 現在補助制度を活用した防災士は37名である。防災士が一堂に会し、情報や意見交換をする場を設けたい。防災士で研修会を開催するなど、地域で防災士の活躍の場が広がることを期待する。



防災士を招いて、自主防災研修会開催

問 前市長の提唱した「ICT、英語教育、IB教育を日本の教育モデルに」について、教育長の見解は。

教育長 「備前市を日本の教育モデルに」は理想であり、教育現場ではハードルが高いと考える。学校現場を踏まえ、一步一步、学校と合意形成を図りながら、「教育のまち備前」の実現に向け努力する。

問 本市のスポーツ振興・普及には、指導者の育成、チームや団など活動の場づくり、大会やイベントが誘致できる施設・環境整備が必要ではないか。

市長 本市のスポーツ施設を基盤に、幅広い世代における活動を支援し、恵まれた地域資源を活かして、大会やイベントの誘致にも関係部署と連携して取り組むことに努める。



少子高齢化は深刻。備前市の 将来の財政状況はどうか？

日本共産党備前市議団

松本 仁



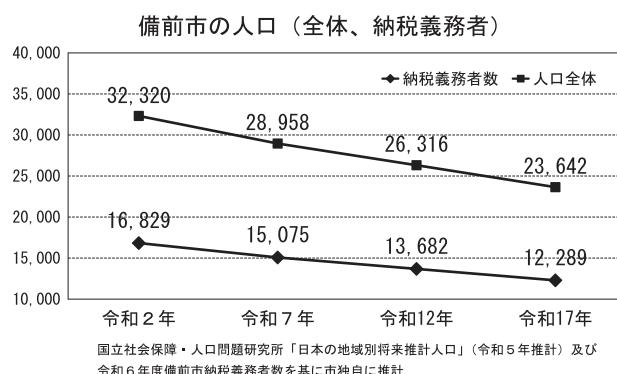
二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 現在の市の財政状況と将来予測についてどう認識していますか。

市長 実質収支がマイナスになるとは考えていない。しかし、財政調整基金の積み増しのペースは減速することが予想される。

問 10年後の人口減、納税者人口減により地方交付税、地方税の減額が予想されるなか地方債の償還はどう推移すると予測していますか。

企画財政部長 令和12年約22億円をピークに徐々に減額すると予測している。



問 8,800万円の予算が計上されている新美術館の開館記念のピカソ展やその後の企画展など、中止を含め再検討すべきでは。

市長 経費削減に努めるが、予定通り実施する。

問 ビーテラスの3、4階の利用計画、e-スポーツ施設として日生支所の利用計画を再検討してはどうか。

市長 市民の意見を聞きながら利用計画を再検討していく。

問 色々な課題があるが、何を優先的に進めていくのか。

市長 市民の安全、安心につながる事業、例えば、老朽化したインフラ施設や公共施設の整備や補修、防災上必要な設備や備品の確保などは優先的に進めていきたい。



市政の大幅な軌道転換を 暫く立ち止まって精査検討を

日本共産党備前市議団
中西 裕康



二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問 これまでの進め方をみればデマンドタクシーの関係者との話し合いが大切ではないか。

市長 今後定期的に協議の場を設けていきたい。

問 伝統産業会館は第二美術館とすることなく物販、もてなしの充実を。

市長 伝統産業会館が本市の文化と魅力を発信し、物販や体験、もてなしの機能充実について検討を進めます。



伝統産業会館

問 吉備中央町から持ち込まれた有害なピーファスについて今後どのように対応するのか。

市民生活部長 持ち込まれた580袋の内、5月末現在で残りが296袋となっている。厳重な保管と早急な撤去を引き続き要望してまいります。

問 国は11万床の病床を削減しようとしているが本市の3病院への影響はどうか。

病院事業管理者 報道によれば余剰病床の削減とされておりますが、市立3病院において余剰病床はないものと考えております。

令和6年度の政務活動費の 活用状況のお知らせ

政務活動費とは、地方自治法に基づき調査研究などの議員活動に必要な経費の一部として交付されるもので、備前市では一人当たり月額2万5千円（年額30万円）を限度額として交付されます。

備前市議会では、独自に「政務活動費の手引き」を作成し、適正な政務活動費の運用のため議員一人ひとりの明細書・領収書、使途状況を議会運営委員会で審査をして市長に報告しています。

令和6年度の政務活動費支出総額 3,777,717円

使途項目	支出額(円)	割合(%)
研究研修費	867,313	22.9
調査費	328,255	8.7
広報公聴費	33,642	0.9
資料作成費	112,019	2.9
資料購入費	1,218,781	32.3
事務費	1,135,831	30.1
その他経費	81,876	2.2
合 計	3,777,717	100

【概要】

交 付 額	4,800,000円
決 算 額	3,777,717円
自己負担額	231,783円
返 還 額	1,254,066円

政務活動費の関係書類は、ホームページで議員ごとの収支報告とともに執行状況を公開しています。

議会事務局で領収書の写しを含め報告書を閲覧することができます。



総務産業委員会

総務産業委員会は、6月17日、19日、24日に開催し、付託された案件の審査ほか所管事項を調査しました。審査議案はいずれも原案可決と決し、本会議に報告しました。

■市の組織及びその任務に関する条例の一部改正〔原案可決〕

7月1日から新たな組織体制を整備し、各部等の任務について規定を整備するもの。主なものとして、文化スポーツ部の任務を教育委員会に移管し、産業建設部の任務を産業観光と建設に関する任務に分け、それぞれ産業観光部、建設部を新設し、市長公室から観光に関する任務を産業観光部に、公共交通に関する任務を市民生活部に移管するもの。

近年、スポーツ部門は市の施策と密接に連携するため市長部局で所管する自治体が増えているとの意見がありましたが、法律に沿って従来所管していた教育部局に戻すものとの答弁があり、全会一致で可決しました。

■職員条例の一部改正〔原案可決〕

7月1日からの機構改革により、市長部局の事務の一部が教育委員会へ移管することに伴い、職員定数を市長部局300人から275人に、教育委員会事務局155人から180人に改めるもの。

■勤労者センター設置条例の廃止〔原案可決〕

勤労者センターは、雇用促進事業団において昭和57年に開設され、平成15年に備前市が購入し、既に22年が経過している。この度、障がい者福祉事業を展開する社会福祉法人ひだすきから施設を無償で使用したい旨の要望があることから、同法人へ無償貸付を行うため設置条例を廃止するもの。

条例廃止の方向性は認めるが、既存の利用団体と十分協議してから提案すればよいのではなかとの意見もありましたが、利用団体に対して、以前から説明してきていることから賛成多数で原案のとおり可決しました。

■財産の無償貸付〔原案可決〕

勤労者センターの土地及び建物を、10月1日から10年間の期間、社会福祉法人ひだすきに無償貸付を行うもので賛成多数で原案のとおり可決しました。

■新図書館建設工事の請負契約変更〔原案可決〕

主な変更点は、矢板施工のために掘削を行ったところ、コンクリート等の地中障害物が広い範囲で確認されたことに伴い、地中障害物撤去工事を追加したこと、また工期を令和8年6月30日までに変更したことにより、30億2,050万1,000円で変更契約を締結するもの。

■所管事務調査・報告から

○6月24日、オリックス・バファローズ応援・観戦ツアーについて、関西万博等の影響を受け想定以上の価格高騰で入札不調となり業者が決定しなかったため計画を中止するとの報告がありました。

委員会視察

5月13日、所管事務調査として、ビッグプロジェクトの第1弾として、7月12日にグランドオープンを迎える備前市美術館の竣工に伴い現地調査を行いました。

芸術文化の拠点として、また、観光振興の起爆剤として、皆様に親しまれる施設となることを願っています。



(委員長 森本洋子)

厚生文教委員会

厚生文教委員会は、6月18日、20日に開催し、付託された案件の審査ほか所管事項を調査しました。審査議案はいずれも原案可決と決し、本会議に報告しました。

■令和7年度備前市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）[可決]

国民健康保険月報・年報システムの機器更改及びマイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴う周知広報事業に係る補正を行っている。

■令和7年度備前市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）[可決]

備前市高齢者保健福祉計画及び第10期備前市介護保険事業計画策定に係る債務負担行為の設定並びに委託料の補正を行っている。第10期計画の要旨は、計画期間は令和9年度から11年度までの3か年で、介護予防の充実と地域で支える仕組みづくりを重点項目と考えているとの答弁があり、全会一致で可決しました。

■所管事務調査・報告から

★障がい者の相談業務について、現状の人員など支援業務体制や課題等の説明を求めました。

委員から職員の人材育成を進め有資格者の人員増を図る、あるいは委託の検討をするなど相談者のニーズに十分応えられる体制を構築するよう要請しました。

★学校現場の修繕について、本会議提出資料を基に修繕状況等の調査を行いました。

委員から現場の状況を確認したうえで適切な優先順位のもと着実な修繕を行うよう要請しました。

★A L Tについて、経緯、契約案件及び現場の状況等について調査を行いました。

委員から事業開始から3か月経過していることから、必要かどうかも含めて業務内容等を精査して早急に対応するよう要請しました。

○子育て支援センターのビーテラスでの業務開始日について、8月1日(金)から保育士2名で開始するとの報告がありました。

○備前市中学校生徒の進学状況について、下表のとおり報告がありました。

卒業者数	備前緑陽 高校	邑久高校	和気閑谷 高校	瀬戸高校	瀬戸南 高校	岡山学区 の高校	その他 学区の高校	私立高校	その他 高校	就職等
181	32	20	9	21	2	39	4	32	18	4

○I B教育の今後の取り組みについて、現場の負担が増えていることも勘案し、まずは1校から人員、予算を集中して取り組み、全体に広げていくことを教育委員会会議で協議するとの報告がありました。

委員会視察

5月21日、所管事務調査として、備前斎場と備前さつき苑の現地調査を行いました。

いずれの施設も経年劣化による老朽化が進んでおります。今後は適切な維持管理が求められます。



(委員長 中西裕康)

予算決算審査委員会

予算決算審査委員会は、6月24日に令和7年度一般会計補正予算（第2号・第3号）を審査した結果、原案のとおり可決し、本会議に報告しました。

■補正予算（第2号）[可決]

原案を賛成多数で可決しました。なお、吉永駅南用地の駐車場整備に係る測量調査設計等委託料2,310千円については、吉永駅南口の建設も見通せず、過大な駐車場を造っても利用が見込めないとの少数意見が留保されました。

《補正予算（第2号）の主な事業等の内容》（単位：千円）

事業名	補正額	事業概要
開発許可申請業務委託料	2,310	新たに取得する吉永駅南用地の開発許可申請に係る委託料
吉永総合支所基本設計業務委託料	6,996	吉永総合支所の建替えを検討するための調査設計業務委託料
電算システム導入委託料 (デジタル実装型TYPE V)	129,887	デマンド型乗合タクシーの予約配車システムの構築やスマートバンドを利用した睡眠データの分析等を実施するための委託料
無線システム普及支援事業費等補助金	19,486	吉永町南方地区が実施するデジタル受信施設改修に対して事業費の1/2を交付
公用車購入費	12,900	市営バス（25人乗）更新に係る購入費
物価高騰対応重点支援交付金	111,150	国が実施している定額減税の調整給付の支給額に不足が生じた場合の追加給付金
企業用地造成事業特別会計繰出金	21,098	企業団地造成に伴う伊里中地区用地取得のための特別会計繰出金
六古窯サミット経費	4,623	備前市美術館の開館を記念した六古窯サミットの実施に係る経費
道路新設改良工事	113,000	片上54号線ほか10件の道路の整備に係る事業費（拡充）
河川改良工事	17,000	立石川ほか3件の河川の整備に係る事業費
港湾整備事業	45,000	鴻島港の整備に係る事業費（拡充）
市営住宅解体工事	54,741	大内団地3棟、土師神根団地4棟及び東鶴山団地1棟の解体工事費
新図書館長候補者人件費	4,131	令和8年度に開館予定の新図書館の館長予定者採用に係る人件費
ビーテラス人件費	7,831	令和7年7月竣工予定の「学びと遊びの健康プラザ（ビーテラス）」運営に係る人件費（4人・9ヶ月分）
図書（新図書館蔵書）購入費	10,000	新図書館の蔵書購入費（追加）

■補正予算（第3号）[可決]

物価高騰の影響を受け続ける市民及び事業者への緊急的な措置として、水道料金の基本料金を4か月間減免すること並びに専決予算（補正第1号）で計上した非課税世帯を含む低・中所得層への電子地域ポイント給付に係る事業費の減額補正を行うもので、原案を全会一致で可決しました。

【提案に至る経緯】

4月11日	市長が一般会計補正予算（第1号）を専決処分する。 補正の概要 物価高騰の影響を受け続ける市民への緊急的な措置として、3月で終了した低・中所得層への電子地域ポイント給付を、非課税世帯にも対象を拡大して1か月分延長するとともに、高値が続く米の購入支援として電子地域ポイントを同じく非課税世帯を含む低・中所得層を対象に給付（事業費：1億3,300万円）するもの。
5月23日	第2回臨時会において、議会が専決処分（補正第1号）を不承認とする。 主な反対理由 庁議事録を取っていないことにより政策形成過程が見えない、臨時会を招集することができたなど。
6月11日	本定例会において、不承認に伴う措置の報告を受ける。 報告の概要 一般会計補正予算（第1号）で専決処分した予算は全額減額し、新たに5月27日付けで閣議決定のあった物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等を財源とする事業の補正予算を提案する。

（委員長 山本 成）

議案等審議結果

案 件 名	議決状況	議決形態
令和7年度補正予算		
一般会計補正予算(第2号)	原案可決	賛成多数
一般会計補正予算(第3号)	//	全会一致
国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	//	//
土地取得事業特別会計補正予算(第1号)	//	//
三国地区財産区管理事業特別会計補正予算(第1号)	//	//
介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	//	//
企業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)	//	//
水道事業会計補正予算(第1号)	//	//
条例制定・改正・廃止		
市の組織及びその任務に関する条例の一部改正	原案可決	全会一致
職員定数条例の一部改正	//	//
税条例の一部改正	//	//
使用料及び手数料条例の一部改正	//	//
公民館設置条例の一部改正	//	//
美術館条例の一部改正	//	//
勤労者センター設置条例の廃止	//	賛成多数
議会委員会条例の一部改正	原案可決	全会一致
その他の議案・報告ほか		
財産の無償貸付	原案可決	賛成多数
備前市新図書館建設工事の請負契約変更	//	//
副市長の選任同意	同 意	全会一致
教育長の任命同意	//	//
教育委員会委員の任命同意	//	//
監査委員の選任同意	//	賛成多数
選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	選 挙	指名推選
専決処分(税条例の一部改正)の承認	承 認	全会一致
専決処分(国民健康保険税条例の一部改正)の承認	//	賛成多数
専決処分(地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の特例に関する条例の一部改正)の承認	//	全会一致
専決処分(備前市美術館条例の一部改正)の承認	//	賛成多数
専決処分(残土処分場調整池整備工事の請負契約変更)の承認	//	//
専決処分(備前焼ミュージアム新築工事の請負契約変更)の承認	//	//
専決処分(旧アルファビゼン第Ⅱ期改修工事の請負契約変更)の承認	//	//
専決処分(令和7年度一般会計補正予算(第1号))の承認	不 承 認	賛成少数
令和6年度継続費繰越計算書の報告(一般会計)	報 告	—
令和6年度繰越明許費繰越計算書の報告(一般・特別会計)	//	—
令和6年度事故繰越し繰越計算書の報告(一般会計)	//	—
令和6年度繰越計算書の報告(水道会計)	//	—
市長専決処分の不承認に伴う措置の報告	//	—

9月定例会の予定

〈開議時刻は9時30分から〉

日	月	火	水	木	金	土
	9/1	2	3 開会 議案上程	4	5	6
7	8	9	10 一般質問	11 一般質問	12 一般質問	13
14	15(祝) 敬老の日	16 議案質疑 委員会付託	17 厚生文教 委員会	18 総務産業 委員会	19 厚生文教 委員会	20
21	22 総務産業 委員会	23(祝) 秋分の日	24 (予備日)	25 予算決算 審査委員会	26 (予備日)	27
28	29	30 討論・採決 閉会				

※予定は変更になる場合があります。

みる・きく

○本会議・委員会の傍聴ができます。

市役所6階 議会フロアにお越しください。

○本会議の様様をインターネットで中継・録画配信しています。

備前市議会ホームページ

[https://www.city.bizen.](https://www.city.bizen.okayama.jp/soshiki/23/)

okayama.jp/

soshiki/23/



令和6年度 議長交際費支出状況の公開

備前市議会では、議長交際費の支出状況を公開し、透明性の確保に努めています。
市ホームページでは、支出項目の明細など、月毎の状況もご覧いただけます。

慶弔関係	10,000円 (1件)
会費	0円 (0件)
渉外関係	59,283円 (6件)
その他	15,500円 (3件)
合 計	84,783円 (10件)

編集後記



「議会だより」編集委員が交代しました。よろしくお願いします。地方自治は二元代表制、バランスを取りながら自治体運営をつかさどる仕組みです。「議会だより」のミッション、市民のために議案や審議の内容を丁寧に伝えていきたいと考えています。

7月12日、「備前市美術館」がオープンしました。文化、芸術、民俗発信の拠点の一つとして、地方創生、地域の活性化に寄与し、より魅力ある備前市のまちづくりに繋がることを願います。

(編集委員長 尾川直行)



備前市議会だよりをご愛読いただき誠にありがとうございます。今後のより良い紙面づくりのため、皆様のご意見・ご感想を「議会だより編集委員会」までお寄せください。

〒705-8602 備前市東片上126 備前市議会だより編集委員会

FAX : 0869-64-1074 / TEL : 0869-64-1803 / E-mail : bzgikai@city.bizen.lg.jp

※お寄せいただきましたご意見等につきまして、個別に回答はいたしませんのでご了承願います。



●この議会だよりは再生紙を使用し、環境にやさしい植物油インキで印刷しています。
●ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。